

皆さんと共にお互いに支え合う地域づくりに取り組みます！

～伊勢原市生活支援体制整備事業～

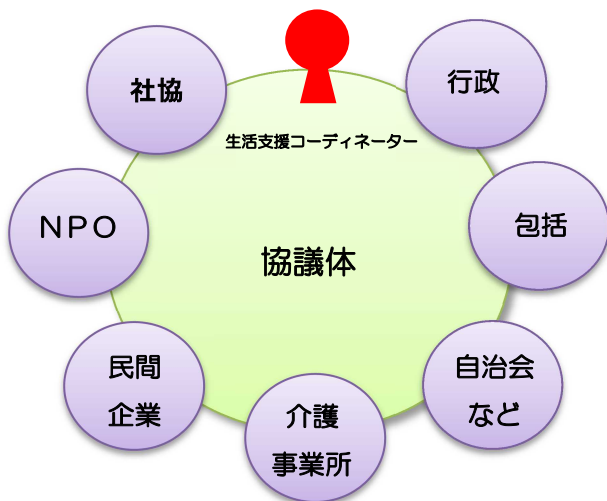
ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、地域の多様な主体が連携を図り、高齢者の生活支援を行っていくことが求められています。そのため、伊勢原市では、協議体を設置するとともに、各地域包括支援センターへ生活支援コーディネーターを配置しました。

日常生活において支援が必要な高齢者の方々が、住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活が継続できるように、地域の皆さんとともに身近な地域での支え合いを推進していきます。



協議体イメージ図

- 下記の協議体メンバーは、例となります。メンバーは地域によって異なります。



協議体とは？

地域の多様な主体がメンバーとなり、地域における課題や今ある資源の情報を共有しながら、知恵を出し合って地域の支え合いについて考える場です。



こんなサービス
があったら！

自分たちのまち
をこうしたい！

生活支援コーディネーターとは？

地域の様々な活動をつなげ、組み合わせる調整役です。協議体と共に地域の支え合いを推進する役目を担います。



こんなことに取り組みます！

ニーズの把握・共有

アンケートや聞き取り調査などを行うことで、地域の困りごとや要望を把握・分析し、関係機関と情報共有していきます。



社会資源の把握

NPOやボランティアグループによる活動など地域の社会資源を把握し、情報提供を行っていきます。



サービス情報の提供

困りごとに対し、利用できるサービス情報を提供します。また、不足するサービスについては、新たなサービスを検討していきます。



支え上手・支えられ上手の地域を一緒に作っていきましょう！！

地域の支え合い活動の事例を紹介

自治会やNPO法人などが中心となり、支え合い活動を先進的に取り組んでいる事例の一部を掲載します。



- ① 設立年月
- ② 実施者
- ③ 取組内容

上平間台自治会支え合いサポーター連絡会（上平間自治会）

- ① 平成24年9月
- ② 自治会支え合いサポーター（住民有志）30名ほど
- ③ 交流サロン・子育てサロンの開催、防災講演会の開催など

みなわ会生活支援サービス（あかね台自治会）

- ① 平成26年4月
- ② 運営委員10名、あかね台在住の支援員37名ほど
- ③ 生活支援（ゴミ出し、家具移動、電球交換など）

お助け隊（東高森団地自治会）

- ① 平成22年11月
- ② 住民有志16名ほど
- ③ 生活支援（刃物研ぎ、屋内の片付けなど）、見守り支援、巡回訪問

東沼目安心見守り隊（東沼目自治会）

- ① 平成29年4月
- ② 自治会役員、民生委員、老人クラブ、東部包括支援センター職員など13名ほど
- ③ 高齢者等の見守り

ボランティアKIZUNA（小規模多機能 サテライト絆）

- ① 平成22年12月
- ② 住民有志8名
- ③ 生活支援（買い物代行、外出支援、通院付添、話し相手、室内清掃、家具の移動など）、安否確認

CoCoいきましょ会（NPO法人一期一会）

- ① 平成27年1月
- ② 住民有志10～15名
- ③ 生活支援（ゴミ出し、草刈り、清掃など）、リレー講座・夜なべ会開催



見守り活動の様子

居場所作り
見守り
移動支援など



庭木の剪定の様子

生活支援体制整備事業では、このような住民主体の支え合い活動を増やし、高齢者を皆で支える仕組みをつくることが求められています。既に地域で活動されている方、これから活動を始めたい方、関心のある方などぜひご連絡ください。また、隣近所で何気なく行われている活動などがあればぜひ教えてください！

